

男の初心者料理教室だより



今後の予定

3月12日(木) 深沢区民センター

4月 7日(木) 同上

5月 7日(木) 同上



2月のお料理は、左下より時計回りで

- ご飯
- ピーマンの肉詰め
- マーマレード
- マカロニサラダ
- たっぷりキノコの豚汁



■脳梗塞の症状と対処

■ 脳梗塞の前兆となる症状

脳梗塞は、脳の血管が詰まり、脳細胞に酸素や栄養が届かなくなる病気です。下記のような症状は、脳梗塞の重要なサインです。

● 体の片側に起こる症状

- ・ 片方の手足や顔の半分に麻痺やしびれがある。
- ・ 利き手ではない方の手に力が入らず、箸やペンを落とすことがある。
- ・ 力があるのに立てない、または歩けない。
- ・ 段差がない場所でもつまずきやすくなる。
- ・ 指先が思うように動かない。

● 言葉に関する症状

- ・ ろれつが回らない。

・ 言葉がすぐに出てこない、または理解できない。

・ 意味のない言葉を発する。

● 目に関する症状

- ・ 片方の目が見えにくい、または二重に見える。
- ・ 視野の一部が突然欠ける。

● その他の症状

- ・ 突然、経験したことのない激しい頭痛がする。バットで殴られたような。
- ・ めまいや耳鳴りがする。

■ 一時的な症状(一過性脳虚血発作:TIA)

これらの症状が一時的に現れても、数分から数時間以内に回復する場合、「一過性脳虚血発作(TIA)」と呼ばれます。TIAは、本格的な脳梗塞が起こる前の警告サインであり、TIAを経験した人の多くは、その後に

脳梗塞を発症する可能性があります。症状が回復しても、必ず専門医を受診しましょう。

■ 緊急時の対応

治療は、詰まった血管を再開通させ、脳梗塞の拡大を防ぐことを目的です。迷わず救急車を呼びましょう。

● t-PA 静注療法(血栓溶解療法)

- ・ 発症から4.5時間以内に点滴でt-PAという薬剤を投与。
- ・ 血栓を溶かして血流を再開させる。
- ・ 治療が早いほど、後遺症が残らずに回復する可能性が高まる。
- ・ 発症から4.5時間以内であっても、適用条件を満たす必要がある。

(文責 小坂 諭 2026.2.12)

